

## 小城市行政改革推進委員会が開催されました

10月27日（金）に平成29年度小城市行政改革推進委員会が小城市役所西館大会議室で開催されました。今回の委員会では第4次小城市行政改革大綱（案）について事務局より説明を行い行政改革推進委員より質疑が行われました。

### 《議事》

（1）議題（第4次行政改革大綱（案）について）

#### ●第4次小城市行政改革大綱（案）について事務局より説明（P4～5）

〈委員意見〉ざっくり見られていかがでしょうか。ずいぶん以前より見やすくなったとは思いますが。

〈委員意見〉4ページの「2 生産年齢人口の減少」の所を読んでいって※1って最初ありますよね。本市の人口は17年をピークに減少しており、続いてこの通り見込まれますと言って、※1で今後の見通しとあって6ページに続きます。その後本文をみていくと生産階層別に人口推移を見ていくと、これはどこの事を書いてあるのだろうかと、この辺りに図1の通りか、図1と連動しているようにと書いてあれば分かり易いかなと思います。最初読んだ時に分からなかったです。それとですね、第3パラグラフですが人口減少の話がありまして、年少人口が減りますと、人口減少の中で特に生産年齢人口の減少は直接的に税収減少につながるためとありますが、これちょっと読みにくいかなと思います。例えば、特に生産年齢人口の減少は税収の減少に直結するためと書いて、最後が社会保障費の増加につながる為にした方が私は読みやすいかなと思います。

〈事務局意見〉ありがとうございます。

〈委員意見〉あと、ご指摘いただいた図1の話ですけど、平成17年度をピークに減少し、今後も人口減少が続いていくと見込まれます。それで※1で図2を見よと書かれています。何が言いたいかというのと表が遠いと。

〈事務局回答〉図1が直近の国勢調査、平成2年からの直近までの国勢調査です。図3がそれ以降、2060年までとなっていますのでこの辺を1つにするとか出来れば。

〈委員意見〉図1だけでまとめればいいかな。

〈委員意見〉図2の2015年の下に平成17年と入れて頂けたらいいかな。

〈事務局回答〉はい。

〈委員意見〉脚注の付け方ですけど、連番化するとかどうですか。※1で次のページも※1が出るかもしれない。

〈事務局回答〉そんなに多くないので、通しで番号を使いたいと思います。

〈委員意見〉内容的にはいかがでしょうか。

〈委員意見〉分かり易くなっていると思います。

〈委員意見〉ただ単に色だけの違いかもしれないですけど、図1の黄色の生産年齢人口の

黄色のラインがあるじゃないですか。それと 6 ページの黄色の線があるが、図 1 のマークの方が薄いような気がします。揃えたほうがいいのでは。

〈事務局回答〉そこは揃えたいと思います。

〈委員意見〉人口減少していく中において社会保障費は増額にはならない可能性もあるんですよ。人口減少した時に全体の割合は同じ額だけれども、財政支出に占める割合が高くなります。その辺を細かく書くかどうか。高齢者の増加は財政支出や社会保障費の比率増加に直結すると書くか。

〈事務局回答〉比率増加に繋がるという形に

〈委員意見〉書いた方が指摘されても大丈夫かなと思う。

〈事務局回答〉そうですね。

〈委員意見〉また何かお気づきの点があればなんでも仰って下さい。

●第 4 次小城市行政改革大綱（案）について事務局より説明（P6～P8）

〈委員意見〉一定の成果・効果があったと捉えているのが達成率と効果額の両面からという話ですよ。

〈事務局回答〉はい。

〈委員質問〉第 3 次っていうのは中途なので 60%位になると、最終的にはどれ位になりそうですか。

〈事務局回答〉29 年度のふるさと納税が今から伸びていく時期なので、なかなかお答えづらい面もありますけども、予算としては 15 億円を見込んでおります。

〈委員質問〉達成、項目の方は？

〈事務局回答〉項目の方は今日資料を持って来ていませんが、第 1 回の時に説明しています。一応今年度取り組みというか、検討をすべて行っております。ただ全部が全部出来ないことが今の時点で分かっているプランがいくつかあります。それについては、プランの方に引き継ぐかどうかについて 1 月以降に話し合い及び協議をします。今後検討を重ねていきたいと思っています。達成率としては、もう少し上がる見込みです。

〈委員意見〉7 割程度は達成して欲しい。ただ残っている物は達成しにくいものだから、だんだんパーセンテージが落ちるのは当然ではありますよね。推量が出来ないようなプランはありましたか。

〈事務局回答〉算定がしにくい物、市民生活の快適さを求める為に推量ができないものや効果額の算出が難しいというものもあります。

●第 4 次小城市行政改革大綱（案）について事務局より説明（P9～P10）

〈委員意見〉いかがでございましょうか。

〈委員意見〉10 ページの所の 4 番の (2) ですが、公共施設やインフラなどの全体の把握と、全体の何を把握されるのかなと思ったのですが。

〈事務局回答〉現状もですが床面積ですとか、更新時期ですとか、そういった物をすべて把握して長期的に予算を付けていくイメージです。今、公共施設総合管理計画を作成していきまして、それがまさに全体の把握ですけど。

〈委員意見〉状況を把握されるのですか。

〈事務局回答〉建物等ですね。総量把握をしてない。床面積とか。小城市としてどれくらいのインフラを持っているか。

〈委員意見〉全体の何を把握するのか。現況の把握なのか、状況の把握なのか。

〈事務局回答〉全体把握をしたうえで、更新時期とかそういうものまで把握して計画では将来的には全体(インフラ)の5%を削るとかありますけど、どちらかといえば床面積です。

〈委員意見〉おっしゃりたいのは重々承知で、文章で全体の把握ってなにを把握されるのかなと思いきまして。全体の状況把握とかにすればいいのかなと。現状把握とか。

〈事務局回答〉はい。

〈委員意見〉後ここだけ読点がないです。

〈事務局回答〉ありがとうございます。

〈委員意見〉4の(3)ですけど、広域での効率的で効果的な行政運営の可能性についてと書いてありますが、今まで4ページから行政経営という言葉を使っていってらっしゃいますが、ここだけ行政運営になっているので意味があればそのままでもいいですが、言葉の統一感としてどっちがいいのかなと。

〈委員意見〉専門用語があるならそれでもいいですけど。

〈事務局回答〉余りその区別はしてないです。最近行政経営が使われています。前は運営だったと思いますが、出来たらそこを統一します。

〈委員意見〉特にこだわりがなければ統一された方がいいのではないかと。

〈事務局回答〉はい、統一します。

〈委員意見〉4ページの下から3行目と、下から2行目は経営ですけど、3行目は運営になっています。

〈事務局回答〉確認して統一します。

〈委員意見〉3の(3)ですね、財政状況の啓発の、「市民が関心をもてるように見える化に」のところ、にが2つあるので、「市民が関心をもてるよう見える化に」でもいいのでは。やっぱり「に」は2つ必要ですかね。

〈事務局回答〉修正を検討します。

〈委員意見〉7ページにパブリックコメント制度が出てきますけど、この意味が普通の人はあんまりピンとこないから意味が分かるように書いてもらった方がいいのでは。

〈事務局回答〉はい、注釈をいれるようにします。

〈委員意見〉4の業務体制の(3)の広域行政の推進っていうのは、ものすごくネガティブに聞こえる。人が居なくなるのでより多くの範囲をカバーするみたいな話ですよ。

〈事務局回答〉そうですね、どちらかというと同じ物を共同計画し、使える資源をみんな

で使おうというコストカットの意味での広域行政で、ネガティブではなくて人が足りなくなるからではなくて、広範囲の方が上手くいくものの中郡広域とかそういうイメージです。

〈委員意見〉それならばいいです。スケールメリットを活かして色んなものを共同活用する共同利活動する事によってコストをシェアしていこうという話とは思いますが、ネガティブの方向に見えるのは悲しいなど。

〈事務局回答〉どちらかという小城市だけではなくて、スケールメリット、特に観光みたいなものは単独では出来ないもので、そういうふうな広域的な事を考えて行こうというイメージであります。

#### ●第4次小城市行政改革大綱（案）について事務局より説明（巻末資料）

〈委員意見〉すみません、真ん中のタイトルが実質公債比率ですが、公債費比率でいいですか。

〈事務局回答〉実質公債費比率ですね。

〈委員意見〉なぜ財政力指数がこんなに低いのか。

〈執行部回答〉財政力指数が低いことが考えられるのはここに書かれている通り、小城市の自主財源が全体の3割位しかないという事が理由かと思っております。そもそも自主財源の比率が3割程度ですので、そういったものも計算するとこういったことになるかと思っております。

〈委員意見〉なんで3割程度。

〈執行部回答〉自主財源ですか。

〈委員意見〉はい。

〈執行部回答〉自主財源っていうのは後ろの方に歳入のグラフが付いていると思いますが、依存財源と自主財源がありまして、12ページの右下の方に自主財源の種類が書かれていると思います。こういった所の全体の依存財源の比率ですね、小城市の方は交付税が高くなっておりまして、自主財源がこの比率をすると、そもそも3割程度しかないものですから財政力指数が低くなっているかと思っております。

〈委員意見〉県内の他の市町は大体5割位ですか。このグラフを見たら。合併特例措置とか例えば交付税が多いとか地方税による収入、他の収入が多いから低いのですか。それとも他の市と比べたら自分達の地方税収入自体が低いからか。

〈執行部回答〉すみません、私共も状況を詳しく分析した資料を持ち合わせておりませんので。

〈委員意見〉ちょっと他市より10ポイント位低いのでなぜかと素朴に思ったので。自前の収入が低いのか、よそからの収入が多いからなのか、どっちなのかなと思ひまして。仮に他の市町と同じくらいの自主財源が確保出来れば変わる、小城市も変わるのだらうなど。交付金が多いのだったら、それは合併特例とか無くなっていったら、よその市町と一緒にになるのかもしれないし。

〈執行部回答〉今、詳細には言い兼ねますけど、平均で申しますと佐賀市が 0.64、唐津が 0.42、鳥栖市が 0.93、多久市が 0.36 と有りますけども小城市としては低い方は低い方ではありますけども、特に鳥栖市が市街地に近いこともあって 0.93 と高くなっておりますので、あと下位の方で言いますと、0.4 というのが多久、武雄、鹿島、小城、嬉野、神埼が大体 0.4 前後に推移しております。

〈委員意見〉わかりました。特に低いわけではないですね。

〈委員意見〉人口 4 万人とか 3 万人台のところはそんな感じ。平均的になるでしょうね。神埼が 3 万台で、嬉野が 2 万台です。

〈委員意見〉直接関係あるか分かりませんが、財政が厳しいので、最初に人財育成の推進をあてられると思います。最終的には人が関わる事だから、市の職員の方も親切に対応して頂きたい事が一番かなと思います。例えば市民の人から意見があった時に、すぐに反応して考えられる部署があるのかなという事と、私が個人的に聞いた話ですけど、牛津の支所があって、そこの開く時間が 30 分位遅い。市役所は 8 時半からだけど、支所は 9 時からになっていて、そこに住まれているお年寄りの方とかが知らないで 8 時半に来られたらしくて、何人か待っていらっしやった。その時に市の方がドアを開けた瞬間に「おはようございます」と爽やかに挨拶をされると待っていた方も気にならないけど、その時はたまたまだったかもしれないですけど、当然のようにドアを開けられて「あれ？」という感じを受けたという話と、ちょっと難しい手続きだったりした時に「それは本庁の方に行かないと手続きが出来ない」と、親切な対応をして貰えなかったという印象を受けられた方がいらっしやったので、そういうちょっとした事が起こった時とか、市民の声が上がった時にすぐに対応してくれる部署や係の人がいると違うのかなと思ったのですけど。

〈委員意見〉普通の企業の話をししますと、今企業の給料の査定とかはたぶん岸川先生の方が詳しいと思うのですけども、営業成績とか数量でもって頑張った人には給料上げるのが普通のやり方ですけども、そうではなくて今度は見えないモノを計測する、例えば親切であったりお節介だったり、来た人に居心地の良い空気を提供するであったり、そういったものも査定する、そういう箇所が出て来ています。これはまだごく一部であって、給料とかその人の評価の部分で取り入れるのは、まだそれほど進んでないですね。ひとつには人事評価でして貰って、質の改善を図っていく事はあるかもしれないですけども、それはなかなか実現しにくいところですよね。市役所だったら。何か苦情をうけつける係とかありますか。

〈執行部回答〉先ほどのご意見で、市民の方からの苦情クレーム含めて色んなご意見頂きます。ご意見箱っていうのもございますし、ホームページを通じてメールで私共の方に来ます。私の方で関係課に指示をして、こういう事実があったのかと、背景がわかりませんので、その課でこういう場面でこういうことを言ったとか、そういうものを担当課に命じまして、あらためるべき所はあらためる様に指示をしております。それと支所の件でございますが、恐らく牛津と思うのですがスーパーの中に入っていて、開店時間が遅いの

でちょっと時間が遅かった。という事になろうかと思えます。ただ、今おっしゃられた通りですね、せっかくお待ちいただいた市民の方に対してですね、挨拶面でちょっと気配りが足りない点があったと思えますので、その点は関係課の方に連絡をしたいと思っております。それと、市の職員が親切に対応するのは、当然そうすべきですが、ここに書いています人事制度の中に勤務評価というのがございまして、良い所はもちろん褒めるし、悪い所は注意してあらためるような指導を行っておりますので、これからも市民の方々の様々なご意見には耳を傾けてより良いサービス提供を整えられる様にしたいと考えております。以上です。

〈執行部回答〉確かに今言われる通り、市民課窓口はあちらこちらから声が届きます。ご意見、クレームも含めてご意見がございまして。その都度ですね原因を聞くと、コミュニケーションが足りてないっていうのを非常に感じております。ですから、もう一言二言を付け加えておけば、相手方が不快な事を受けられなかった案件がほとんどでございまして。まずはコミュニケーションが不足しているからと言う事で、原因を聞いたら確かにそうでしたので、不足しているからということで指導をしたつもりでおります。だからどうしても個人差があるということは研修制度に不備が合ったりするのがあるかもしれませんので、今後少しでも無くしていく様に努力をしていきたいと思っております。ありがとうございます。

〈委員意見〉なかなかコミュニケーションと一言で言ってしまうとですけど、コミュニケーションほど難しいものはありませんね。伝える事は皆さんやっていますが、ただ伝わってない。伝わるコミュニケーションをどのようにするかは、企業でもどこでも難しいですよ。基本は喋る事でありまして、お話をきちんときくっていう傾聴力の部分がコミュニケーションのほとんどを占めますので、研修をどんどん進めていただいて、「これはやらないといけない」と動くといいかなと思えます。みんなが努力しないとイケないですね。何か他にございますか。

〈委員意見〉少し戻っていいですか。このグラフですけど、普通の人が見て百万円単位だとパッと見ていくらだろうと思えます。というのが、たぶん皆さん数字をいつも沢山見ているので、すぐ幾らか見て分かるのかなと思えますが、普通の人が見て一、十、百、千、万と数えながら見ないと分からない。この百万単位で切り捨てたり、大雑把ではいけないのかなと思えます。

〈委員意見〉両方の意見があると思えます。詳細に出してほしい人、ザックリとしてほしいなって人と。百万単位なんて普通見ませんから。

〈委員意見〉普通見ないので、どうしても何となくイメージで金額がすぐに思い浮かばないのかなと、普通の人が見た時に。

〈委員意見〉見慣れている人はこれじゃないと分からないです。

〈委員意見〉普通2百億なんて数字みないですもんね

〈委員意見〉なんとなく割合がどんな収入歳入があつてとか普通の人が見た時に数値を大

雑把じゃいけないのかなっていうのが少しあったので。

〈委員意見〉 大体行政は百万単位が多いですもんね。逆に百万でも大雑把っていう考えなので。

〈委員意見〉 この表は行政の人が見るだけなのですね。

〈委員意見〉 普通タイミングで出す時に、大体百万くらいで区切って示すのですよね。千を切るか、千を全部きってしまうか、百万単位で切るかどっちか。

〈委員意見〉 これは普通の家の人に配られる分の中の資料ではないのですね。この中のグラフとかは。

〈事務局回答〉 公表はしますけど、配ることは考えてないです。

〈委員意見〉 冊子の中にあったりとかはしないのですか。

〈事務局回答〉 ないです。

〈委員意見〉 わかりました、ありがとうございます。

〈委員意見〉 たぶん小城市もそうですけども、毎年予算の市政だより等で円グラフでありますから、あれも大体百万単位とかで、書かれてあるかと思いますが。

〈委員意見〉 そっちの方が百万台じゃないほうがいいですね。円グラフとか普通の人が見るときが。

〈執行部回答〉 市報とかで決算報告とかする時は、28年度のグラフで歳入のグラフ、12ページですね。202億という億っていう漢字を入れたりします。あんまり入れすぎると個人差がでてきますので。

〈委員意見〉 総額の所だけを212億とかいれることは可能だと思います。下の方は百万台で。億が1つ入ると見やすいですね。内容についてはご了解頂けたということで。ありがとうございます。

〈事務局進行〉 ありがとうございます。それでは3番目のその他に移りたいと思います。その前に先程ご指摘頂きましたものはこちらの方で修正をさせていただきますので、ご了承下さい。今後の予定という事を担当の方で説明させていただきます。

〈事務局進行〉 今後の予定ですけども、皆様方からご意見頂きました大綱の案を、皆様のご意見頂いた分を反映させます。もしまた帰られてお気づきの点等がありましたら反映させますので連絡をお願いします。

それをすべて反映させた分を第4次小城市行政改革大綱（案）として庁内の行政改革推進本部会議で決定をします。その決定したものを11月中に議会に説明をしまして、その後パブリックコメントを実施します。市民の皆様方からご意見を聞いて、反映させるべき所は反映させて、それから12月中か1月になるかもしれませんが第4次の小城市行政改革大綱案が制定ということで完成します。個別具体的な取り組みとして行政改革プランを作らないといけませんので、それについては1月、2月くらいに皆様方にまたお集まりいただいてご審議のお願いしたいと思います。今の所2回、会議が出来ればと思っております。今後の予定としては以上になります。

〈委員意見〉次は皆さんにご協力頂くのは行政改革プランを作る 1、2 月の検討会ですね。そこにご出席頂くということになります。宜しくお願い致します。

〈事務局進行〉みなさま本日も大変いろいろご意見を頂きましてありがとうございました。皆様の頂きました意見を踏まえて大綱として完成させて、周囲の方に公表してご意見を頂きたいと思います。また、今後は説明しましたように、これに対しての個別具体的なプランをみなさまに先程ご指摘頂いた人材育成についてですとか、うちの方で案を出しますので、ご協力いただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。